FUYO LEASE GROUP

2020年8月14日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長　辻田　泰徳
東京都千代田区麹町 5-1-1

Airbus Ventures Fund Ⅲ LP への出資決定について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長　辻田泰徳、以下「芙蓉リース」という）は、航空宇宙産業のリーディングカンパニーである Airbus S.E.（オランダ王国、CEO　Guillaume Faury、以下「エアバス社」という）傘下の Airbus Ventures（米国カリフォルニア州、代表パートナー Thomas d'Halluin）が新たに組成するベンチャーキャピタルファンド「Airbus Ventures Fund Ⅲ LP」（以下「当ファンド」という）に対し、株式会社日本政策投資銀行および三菱ＵＦＪリース株式会社とともに、出資を行うことを決定しました。なお、当ファンドに対するエアバスグループ以外からの出資は、本件が初めてとなります。

当ファンドを運営する Airbus Ventures は、エアバス社が、将来の航空宇宙分野において変革をもたらす可能性を持つ革新的な技術を有するベンチャー企業に投資することを目的として 2015 年に設立したベンチャーキャピタルです。自動化、電動化、次世代コンピューター、先進的素材などの技術を対象に、先端技術に対する深い知見、シリコンバレーを中心とする多数のベンチャーファンドとの協働、エアバス社やグループが有するネットワークなどを活用した投資後の積極的なバリューアップ活動を軸に、世界各地で投資活動を推進しています。

芙蓉リースグループは、中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、「航空機」を戦略分野の一つとしております。当ファンドへの出資を通じ、航空宇宙分野におけるグローバルなイノベーションの動向を把握し、先進的なノウハウを獲得することで、ビジネス領域の拡大に取り組んでまいります。また、当ファンドが投資対象とする技術は、航空宇宙産業に限らず、幅広く様々な産業にインパクトを与えることが期待されることから、「航空機」にとどまらない、当社グループの様々なビジネスにおける知見の獲得・事業領域の拡大にも活用してまいります。

芙蓉リースグループは、社会課題の解決に積極的に関与し、同時に企業としての成長を目指す CSV（共有価値の創造：Creating Shared Value）の考えを実践し、ビジネス領域の拡大に取り組むとともに、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）木村・渡邊
電話番号　０３（５２７５）８８９１　　ＵＲＬ　https://www.fgl.co.jp/